



平成23年度水道技術管理者資格取得講習会

本講習会は、水道法施行規則第14条第3号の規定に基づき、厚生労働大臣の指定機関として、水道技術管理者の資格を取得しようとする方を対象に学科講習及び実務研修を実施している。学科講習は、毎年度、東京、大阪、福岡で行っている。本年度の学科講習東京会場は、10月に本会川口研修所及び会議室、大阪会場は10月に本会大阪会館、福岡会場は11月に福岡市水道技術研修所において開催した。

1. 実施期間：日本水道協会会議室 9月27日～10月18日
川口研修所 10月4日～10月25日
大阪支所大阪会館 10月12日～11月1日
福岡市水道技術研修所 11月15日～12月6日
2. 参加者：381名
3. 学科講習科目：水道行政、水道経営、水質概論、公衆衛生・衛生管理、水道計画、水道水理学・構造力学、土木材料及び施工法・水道資材、水源・取水施設・貯水施設、導・送・配水施設、浄水施設、機械・電気設備、計装設備、給水装置、水源・原水及び浄水処理の水質管理、送配水・給水の水質管理（水質異常時の対応含む）、微生物・生物概論、浄水場見学、工場見学

平成23年度水道技術者研修会（Aコース：11月8日～11月18日）

正会員及び賛助会員の技術職員（水道歴概ね3年未満）の方々51名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」「水道計画」「水道基礎工学」「取水・貯水施設」「導・送・配水施設」「浄水施設」「漏水防止実習」「浄水施設（通常処理）と高度浄水処理」「浄水場見学（東京都水道局三園浄水場）」「機械設備」「電気設備」「計装設備」「水質管理（I）概論」「水質管理（II）実務」「給水装置」について研修を実施した。

第92回経営調査専門委員会（11月25日）

人事異動等により正副委員長が不在であったため、はじめに、議題(1)「正・副委員長の互選」についてを上程し、委員長には東京都の坂井委員、副委員長には横須賀市の中田委員が選出された。

次に、「地方公営企業会計制度の見直し」について、総務省自治財政局公営企業経営室 大田課長補佐より講演があった後、議題(2)「資本制度の見直しに係る各事業体の対応」について意見交換を行った。

続いて、議題(3)「簡易水道統合に係る会計処理等の手引きの作成」について、議題(4)「水道事業における消費税及び地方消費



税の会計処理の見直し」についてを上程し、それぞれ審議の結果、平成24年秋を目途に発刊することを決定した。

第169回工務常設調査委員会（11月28日）

JWWA 規格の改正（水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120）について審議し決定したほか、新たに設置された専門委員会の進捗状況、水質の最新情報、水道法及び同法施行規則の一部改正、東日本大震災水道施設被害等現地調査団報告等について報告を行った。



平成23年度水道技術者研修会（Bコース：11月28日～12月9日）

正会員及び賛助会員の技術職員（水道歴概ね3年以上）の方々81名の参加を得て、「水道計画」「水道基礎工学」「取水・貯水施設」「導・送・配水施設」「浄水施設」「高度浄水処理」「浄水場見学（東京都水道局朝霞浄水場）」「漏水防止実習」「機械設備」「電気設備」「計装設備」「水質管理（概論・浄水処理）」「水質管理（送・配水）」「給水装置」について研修を実施し、最終日に自由討議を実施した。

第62回水道 GLP 認定委員会（11月29日）

水道 GLP 認定について、前橋市水道局（申請番号：JWWA-GLP 075）が新規に認定された。また、認定更新検査機関として堺市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP 032、11月27日付）、認定維持検査機関として池田市上下水道部（認定番号：JWWA-GLP 056）、更新後の認定維持検査機関として大阪市水道局（認定番号：JWWA-GLP 001）が、それぞれ審議され決定された。

第4回^{いのち}生命の水道ニッポン運営委員会（11月30日）

会議冒頭、議題として「正・副委員長の選出」についてが上程され、委員長に本協会の尾崎専務理事、副委員長に東京都水道局の増子公営企業管理者がそれぞれ選出された。

引き続き、協議事項「平成23年度調査・検討報告」、並びに「今後の活動予定」について、審議が行われた。

第270回理事会（11月30日）

本協会の尾崎専務理事が議長となり、報告事項「平成24年度上水道関係予算の確保に関する要望活動等について」、「水質検査業務委託に関する規則改正等の説明会開催について」、「第4回 IWA アジア太平洋地域会議（IWA-ASPIRE）の開催報告について」、「第7回 IWA ワークショップの開催について」、「平成23年東日本大震災水道施設被害等現地調査団報告書

について」、並びに「品質認証センター川口試験所の廃止について」、それぞれ事務局から説明があった。

引き続き議案の審議に入り、第1号議案「常任理事の互選について」、第2号議案「顧問の委嘱について」、第3号議案「日本水道協会第80回総会会員提出問題等の処理について」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



会議終了後、第3号議案の議決に基づき、出席理事全員により主要国会議員及び関係各省に対し陳情を行った。

第101回 機械・電気・計装専門委員会（11月30日、12月1日）

本専門委員会では、水道技術者の育成をサポートすることを目的とし、水道経験1～3年目の技術者向けのテキストの作成や、研修担当者向けの研修ノウハウの取りまとめを行っている。今回の委員会では、テキストの構成や記述の要点について審議を行った。今後は執筆作業に入り、平成24年度末の完成を目指す。

平成23年度浄水等設備技術実務研修会（第6回：12月6日～12月9日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第658回抄録委員会（12月8日）

本誌3月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

平成24年度水道関係政府予算対策室の設置（12月13日）

日本水道協会では、12月13日に平成24年度水道関係政府予算対策室を設置した。

